

会 議 録

学校給食センター

会議の名称	富士見市学校給食センター運営委員会
開催日時	平成25年7月26日(金) 午前10時～午前11時
開催場所	学校給食センター研修室
出席者	佐藤針ヶ谷小学校長 他23人(出席運営委員16人) 出欠席状況別紙のとおり
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 運営委員委嘱状交付 4 運営委員及び給食センター職員自己紹介 5 運営委員会役員の選出(委員長、副委員長及び監査委員) 6 議 題 (1) 協議事項 ①平成24年度第3学期学校給食費収支報告について (監査報告) (2) 報告事項 ①平成24年度学校給食栄養状況報告について ②学校給食用物資納入業者の登録について (3) その他 7 閉 会
会議資料	1 富士見市学校給食センター運営委員会委員名簿 2 平成24年度第3学期小・中学校給食費収支報告書(資料1) 3 平成24年度学校給食栄養状況(年平均) 4 平成25年度学校給食用物資納入登録業者一覧 5 平成25年度第1回運営委員会出欠席一覧

会議内容

専門員が開会宣言の後、今井教育部長から挨拶。

次第に従い、新たに選任された運営委員に対して委嘱状交付式が執り行われた。運営委員の代表として、佐藤公誠運営委員（針ヶ谷小学校長）に対して、今井教育部長から委嘱状が交付された。その後役員選出に入る。委員長・副委員長・監査委員について互選でお願いしているところだが、意見が出ないようなので事務局案を提示。運営委員長に丸山茂委員（南畑小学校PTA会長）、副委員長に天野豪雄委員（勝瀬中学校長）、また監査委員に大根田良夫委員（諏訪小学校長）、小田島美穂（つるせ台小学校PTA給食委員）を推薦。事務局案が承認された。その後、運営委員及び給食センター職員の自己紹介。丸山新運営委員長の挨拶の後、運営委員長を議長として議題に入る。

<議題>

① 平成24年度第3学期学校給食費収支報告について

事務局より収支報告書を朗読説明。（資料1）その後、24年度の監査委員、宮監査委員（南畑小学校長）より監査報告。

報告後、質疑を問う。未納となっている給食費について、今後どのように対応してゆくのか、また未払いの部分は市が補填しているのかとの質問があった。未納については、マニュアルに沿って、書面による督促や面談等により、納入を促していく。未払い分については、市会計からの補填はしてない。前年度からの繰越分もあるが、納入された給食費で未納者の分の給食も賄っている部分もあり、未納を減らすよう今後も努めると回答。

その後、決裁・承認を得る。

<報告>

① 成24年度学校給食栄養状況

事務局より報告。小・中学校のそれぞれの栄養摂取量（点線）と基準栄養量（実線）は資料のグラフのとおり。

不足している栄養価については、摂取基準に近づけるように食材を工夫して取り入れていきたい。

② 校給食用物資納入業者の登録について

事務局より報告。新たに、1社が納入業者の登録を希望。保健所

による食品衛生監視票や細菌検査検査結果等、提出された関係書類を審査したところ、適正と判断。有効期間は平成25年8月1日から平成26年7月31日まで。登録業者は別添の資料のとおり。

<その他>

食材の選定について、地場産を優先するのか、見積もり金額を優先しているのかとの質問があり。給食センターは市内17校の給食を提供している為、安定供給が求められる。天候による育成遅滞や不作等もあり、地場産のみに頼ると供給量にもかかわってくる。見積もり審査会においては、地場産を優先しているところだが、地場産の収穫量が少ない時は、八百屋を通して近隣市町村で採れた食材を使用することもある。また予算の中で、どうしても地場産の見積もりが高く、予算内に収まらない場合は地場産以外に落ちることもある。

地場産と見積もり額の兼ね合いについて、例えば地場産の食材の見積もり額がそれ以外の食材の1.5倍以上になるときは地場産以外を選定するなど、指針を明確にするべきではとの意見に対して、今後検討してゆくと事務局が回答。

運営委員会の開催日時について、運営委員より意見あり。平日の午前では、サラリーマンは出られない時間帯。また月末・月初も忙しい時期。運営委員会の開催には、考慮してほしい。

事務局から、通常は午後3時からの予定で、第1回は学校での行事等の関係から午前の開催となった。開催日時については、調整をとって決定していくと回答。

以上、議事が滞りなく終了。

<閉会> 専門員の閉会宣言で終了。